

授業科目名	事業構想計画演習	担当教員	西根英一	科目コード
配当年次	2年次	学期	通年(前期・後期)	
キャンパス	名古屋	単位数	4単位(2単位・2単位)	

## 講義の概要とねらい

### 概要)

各自の二年次演習テーマに沿って、0を1にするビジネスローンチのための事業の発想・着想・想像、事業の構想立案(KGIとなる大きな目標設定)、事業の構想計画(KPIとなる細かな要件定義)、次に1を100にするビジネスグロースのための事業分析(環境分析、市場分析、戦略分析)と事業戦略(マーケティング・コミュニケーション)の“設計図”を策定しながら、事業価値の最大化、従来モデルとの差別化、持続社会への最適化を図り、社会実装のビジネスモデルを構築します。

### ねらい)

テーマに対する事業構想を、“純度”をもって創発し、共創しながら“確度”ある事業構想の計画書へとブラッシュアップしていきます。事業構想を確立し、事業実現に向けた提言書・提案書として生かしていきます。

## 到達目標

二年次演習テーマに対する課題解決ないし未来創造を目途に、確度の高い事業構想の企画書を創り上げることを目標にします(=到達レベル)。さらに、社会実装に向けてビジネスが始動することを期待します(=期待レベル)。

## キーワード

#事業構想 #課題解決型 #未来創造型 #介入支援 #ビジネスモデル #地域職域学域

## 授業の進め方と方法

各回、考え方と進め方のショートレクチャーの後に、ゼミナール形態を中心に進行し、報告・講読・討論と講評を繰り返していきます。「個」創をもとに「共」創意識を持つことによって、自助・互助・共助、さらにはときに公助との接点によって事業が芽生えていくよう指導します。

## 授業計画(前期)

		課題
第1回	前期オリエンテーション…アプローチテーマを探索し、テーマが置かれている現状を構造化する	復習として、個人で取り上げる課題を明確化しておく。
第2回	事業構想のメルクマール(1)「東海地区から生まれた、研究を生かした事業構想」を分析する(先方の都合により下と入れ替えの場合あり)	復習として、事業構想のKSF(重要成功因子)を列挙しておく。
第3回		
第4回	事業構想のメルクマール(2)「北陸地区から生まれた、地域を生かした事業構想」を分析する(先方の都合により上と入れ替えの場合あり)	復習として、事業構想のKSF(重要成功因子)を列挙しておく。
第5回		
第6回	事業の発想・着想・想像…クリエイティブ発想で拡散して、ロジカル思考で収束する	予習として、「事業の発想・着想・想像」を手掛けておく。復習として、「事業の発想・着想・想像」を仕上げておく。
第7回		
第8回	事業の構想立案と事業の構想計画…KGIからバックキャストिंगして、KPIを要件定義する	予習として、「事業の構想立案」「事業の構想計画」を手掛けておく。復習として、「事業の構想立案」「事業の構想計画」を仕上げておく。
第9回		

第10回	精緻化のための事業分析…PEST分析(環境分析)と3C分析(市場分析)から、SWOT分析(戦略分析)へ	予習として、「事業分析」を手掛けておく。復習として、「事業分析」を仕上げておく。
第11回		
第12回	事業構想計画化のためのビジネスモデル…事業を真ん中に、縦軸にシーズとニーズとゴール、横軸に人脈と金脈を整理する	予習として、「事業ビジネスモデル」を手掛けておく。復習として、「事業ビジネスモデル」を仕上げておく。
第13回		
第14回	二年次演習テーマに対する事業構想の中間成果(中間発表会に向けたゼミ内発表) [一人当たり30分…発表(20分)と討論・講評(10分)を想定]	発表の準備を要す。
第15回		
<b>授業計画(後期)</b>		<b>課題</b>
第1回	後期オリエンテーション…アプローチテーマに関して、夏休み期間中に収集したこと見聞きしたことの報告	復習として、課題を再調整し、商材を明確化しておく。
第2回	戦略化のための事業プラン①…ブランディング(商材開発)とイシューイング(話題開発)	予習として、「戦略化事業プラン①」を手掛けておく。復習として、「戦略化事業プラン(ブランディングとイシューイング)」を仕上げておく。
第3回		
第4回	戦略化のための事業プラン②…マーケティング(市場開発)とターゲット(顧客開発)	予習として、「戦略化事業プラン②」を手掛けておく。復習として、「戦略化事業プラン(マーケティングとターゲット)」を仕上げておく。
第5回		
第6回	収益化のための事業プラン…分子を増やす販路開発プランと分母を拡げる事業開発プラン	予習として、「収益化事業プラン」を手掛けておく。復習として、「収益化事業プラン」を仕上げておく。
第7回		
第8回	実装化のための事業プラン…広告プロモーションプランと戦略PRプラン	予習として、「実装化事業プラン」を手掛けておく。復習として、「実装化事業プラン」を仕上げておく。
第9回		
第10回	二年次演習テーマに関する事業構想計画書の内容確認(過不足修正)と論点整理①	事業構想計画書の執筆を速やかに進めること。
第11回		
第12回	二年次演習テーマに関する事業構想計画書の内容確認(キーストーリー演出)と論点整理②	事業構想計画書の執筆を細やかに進めること。
第13回		
第14回	二年次演習テーマに対する事業構想の最終成果(最終審査会に向けたゼミ内発表) [一人当たり30分…発表(20分)と討論・講評(10分)を想定]	発表の準備を要す。
第15回		
<b>教科書</b>		
二年次演習テーマの決定により各自紹介します。		
<b>参考書、講義資料等</b>		
進捗に沿った資料を毎回提示します。		
<b>成績評価の基準及び方法</b>		

前期15回・後期15回を通じた演習テーマへの取り組みを評価の8割に設定します(成果報告となる「事業構想の中間計画書」「事業構想の最終計画書」作成は修了条件となります)。残り2割は、授業内の“共創”への参画度を平常点とします。

#### 連絡先(メール・電話番号)

西根英一 : e.nishine@mpd.ac.jp

#### オフィスアワー

授業のある日に合わせ、名古屋校にいます。その他の時間帯はメール等で対応します。

#### その他

- ・環境分析においては、情報収集のための資料入手先訪問等が課せられます。市場分析においては、ニーズ探索のためのインタビューないしヒアリング等が課せられます。
- ・前期中間発表会、後期最終審査会に計画を発表してもらいます。この準備にまとまった時間を要することが予想されます。